

オノマトペの研究から質感・感性の定量化へ

電気通信大学提供
作成日 2016年2月26日
更新日



研究者氏名

さかもと まき
坂本 真樹

所属機関

電気通信大学
大学院情報理工学研究科

関連キーワード(複数可)

言語を通じた認知プロセスの解明、感性情報抽出、オノマトペ、五感の相互作用、広告、色彩
オノマトペによる感性評価システム、テキストから感性情報を抽出するシステム、痛みの表現を定量化する診断支援システム

主な研究テーマ

- ・オノマトペ関連システムによる質感・感性測定
- ・オノマトペによる質感・感性測定法の医療への応用
- ・五感の相互作用、共感覚比喩の基礎研究
- ・一般テキストから感性情報を抽出するシステム
- ・広告メディア、デザインの多目的最適化

主な採択課題

- ・新学術領域研究 平成27～31年度(配分総額:36,920千円)
課題名「物理・知覚・感性の対応付けに基づく実社会の多様な質感情報表現」
- ・基盤研究(B)平成27～29年度(配分総額:7,800千円)
課題名「日常診療から認知症診断までオノマトペを用いて感性を尊重する高齢者支援手法の提案」
- ・挑戦的萌芽研究 平成27～29年度(配分総額:3,640千円)
課題名「オノマトペを用いた多様なパーソナリティの把握と人間関係の可視化」

① 科研費による研究成果

■五感を通して知覚された刺激が、脳や心の中でどのように言葉として把握され、感性的イメージと結びつくのか、そのメカニズムの解明に取り組んでいます。このような基礎研究をベースに、擬音語・擬態語の総称であるオノマトペに着目し、五感や感性を評価するソフトウェアを開発しました。またオノマトペと比喩を結合して痛みの表現を定量化する、診断支援システムを開発し、医療への貢献も目指しています。

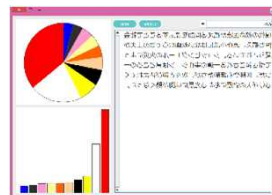
- ・オノマトペが表す微細な意味を定量化するシステム・新規オノマトペを自動的に生成するシステム
- ・オノマトペによる画像検索システム
- ・人が使うモノ・製品・味の感性評価システム、素材提案システム
- ・痛みの表現を定量化する医療診断支援システム
- ・テキスト情報に適した色彩やフォントなどのデザイン推薦システム



オノマトペによる感性評価システム



オノマトペと比喩を統合した診断支援システム



テキストから感性情報を抽出するシステム

② 当初予想していなかった意外な展開

■メディアの取材(2015年度)

○オノマトペで表現された言葉を通じて五感や感情を定量化し、人のコミュニケーションやものづくり、医療分野などへ目に見える形で活用されている点が注目されています。

- ・テレビ東京 ワールドビジネスサテライト「擬音語解析システム」
- ・フジテレビ ホンマでっか!?TV 新オノマトペ評論家としてレギュラートーク出演「上手な距離感の取り方」、「女性の潜在能力×感性工学」
- ・日刊工業新聞「カギは感性」
- ・日刊工業新聞「感性定量化 モノづくり支援」
- ・日刊工業新聞「患者の痛み可視化 擬音語や擬態語定量化」
- ・bayfm「TOKYO GAS CURIOUS HAMAJI」2週にわたってオノマトペの専門家として出演し、オノマトペによる感性評価システムiPadアプリ版を紹介
- ・フロムページ SELF BRAND 2016「人の五感と密接な関係をもつ、オノマトペが秘めている可能性とは？」

③ 今後期待される波及効果、社会への還元など

■オノマトペで表現された言葉を通じて人の五感や感性を定量化する本研究を、モノづくりに応用し始めています。顧客が求める質感や味覚を追求する商品開発にも役立っています。オノマトペが使われるあらゆる分野への貢献を目指します。

■オノマトペと比喩表現とを結合することで、主観的な痛みを可視化する研究を進めています。日常の診断から高齢者の認知症診断など、医療への貢献を目指しています。